

市民協働推進に関する市民等の意見及び課題と取組 (H30～R 元)

総務部市民協働課
令和2年1月8日作成

課 題	1.各主体が協働に対する共通認識を持つ
<p>これまでの取組</p>	<p>○市民協働セミナーの開催</p> <p>【H30】テーマ：市民協働のまちづくりについて～考え方と取組～ 講義、活動紹介、ワークショップ</p> <p>【R 元】テーマ：住民主体の地域づくりについて～考え方と取組～ 講義、活動紹介、ワークショップ</p> <p>○とみやわくわく市民会議におけるテーマ設定</p> <p>【R 元】テーマ：とみやの市民協働について～わたしたちが描く理想のカタチ～</p>

市民・職員の意見

<協働に対する共通認識の必要性>

- 各団体、各主体に協働の理念が浸透し、協働していく必要がある (H30 研修会)
- 協働に適した領域について、市民と行政が共通認識を持つことが大切 (H30 研修会)
- 市民協働の推進についていかに市民に周知させるかが重要 (H30 セミナー)
- 町内会やボランティア活動を通じた協働意識の醸成活動を引き続き継続していきたい (H30 セミナー)
- 広報で自助・共助の必要性を発してほしい (R 元セミナー)

<共通認識を持つ機会の創出>

- セミナーのような機会を作ってほしい (6名)** (H30 セミナー・R 元セミナー)
- (市民協働の) 知名度、宣伝が薄いので市内に出張(講座)してはどうか (H30 セミナー)
- 市民に積極的にPRしてもらいたい (R 元セミナー)
- 富谷は市民協働の先進自治体であり、このまま強力で推進してほしい (H30 セミナー)

<市民の意識向上>

- 出来るところから市民が役者になって (R 元セミナー)
- 現段階では、民の私たちがもっとレベルを上げていかないと協働は難しい (H30 セミナー)

課 題	2.各主体が互いを理解し、つながりを持つ ※各主体⇒町内会、NPO 法人、ボランティア・公益活動団体、企業、大学、行政
これまでの取組	<p>○とみやわくわく市民会議の開催</p> <p>【H29】4回(シティブランド、地域人材育成、文化財活用、防災減災)</p> <p>【H30】4回(起業・創業、地域コミュニティ、開宿400年事業、協働教育活動)</p> <p>【R元】4回(市民協働、国際交流、子どもにやさしいまちづくり、農業)</p> <p>○市民協働セミナーの開催</p> <p>活動紹介、ワークショップ</p> <p>【H30】町内会、NPO 法、ボランティア団体・市民活動団体等 5 団体</p> <p>【R元】町内会、NPO 法人、ボランティア団体・市民活動団体等 4 団体</p> <p>○市民協働研修会(職員対象)の開催</p> <p>活動紹介</p> <p>【H30】NPO 法人</p> <p>○ホームページ掲載</p> <p>【H29】町内会、NPO 法人</p>

市民・職員の意見

<お互いを知り理解することの必要性>

- 建前でなく心を開いて話し合いをすれば活路が開かれるということがわかった (H30 セミナー)
- 市とこのような場で交流するという地道な活動をたゆまず続けていただき、互いに親近感を深めていけたらと思います (R 元 セミナー)
- 市民と行政が互いにハードルを感じることなく気軽に話しあい、協働できるといい (H30 研修会)
- 旧町内会と新町内会では考え方に違いがある (H30 セミナー)
- 市民の方がやりたいといったことに行政の側が共感することが「市民協働」という考え方がベストだと思う。両者が Win-Win の関係になればいい (H30 研修会)

<市民の活動を知る、つながる機会の創出>

- 協働に関わっている団体、個人についての事例を知りたい (H30 セミナー)
- 広報等で各グループの取組みを PR してください (H30 セミナー)
- 市民協働事例を富谷市ホームページに定期的に掲載してほしい (H30 セミナー)
- 本市はこれから事例集に取り組んでほしい (H30 研修会)
- 市民活動グループ、NPO、町内会等の交流の場(情報交換会)があるといい (H30 セミナー)
- 町内会(区長)たちの活動報告や情報交換もこのようなセミナーで行うとよいのではないかと (H30 セミナー)
- いろいろな地区の話をたくさん聞きたい (H30 セミナー)
- 市民協働課を架け橋として市民同士がつながれるとよい (R 元わくわく)
- 市(行政)だからこそ効率のよい周知で住民同士がつながる場を設けられる (R 元わくわく)
- ボランティア団体の資金繰りの自助努力や自分たちで何とかするためにはどうしたらいいかが課題。色々な立場の人から色々な意見を聞けるといい (R 元わくわく)

課 題	3.協働を推進していくための基本的なルールをつくる ※富谷市総合計画前期計画成果目標
これまで での取 組	○まちづくりの基本的なルールの策定 様々な主体と行政が共にまちづくりに取り組むための <u>指針</u> として策定（総合計画前期計画） 【H29】ルールに関する調査研究、県内自治体視察(5自治体) 【H30】市民の意見聴取(わくわく市民会議、市民協働セミナー時) 【R元】市民の意見聴取(わくわく市民会議、市民協働セミナー時) 有識者等による懇話会開催、指針・ルールの素案作成 【R2予定】指針・ルールの策定

市民・職員の意見

- <協働を推進するためのルールの必要性>
- 市民参加（協働）のまちづくりを進めるためにも、速やかにまちづくりの基本ルールを作る必要がある（H30 セミナー）
 - ルールがあると入りづらいところがあるのでフリーが良いと思います（R元セミナー）
 - ルールという入りにくくならないか（R元セミナー）
 - ルールというのはふさわしくない。想いの共有の場(今回のセミナー素晴らしかった)を創造しPRしていただきたい（R元セミナー）
- <協働を推進するためのルールのあり方>
- 最初に行政の目標ありきでは市民協働とは言えず、逆に反感を買う恐れがあるので十分に考慮してほしい（H30 セミナー）
 - 異なる複数が集えるための実践活動を指導、アドバイスのような方向性を示してほしい（H30 セミナー）
 - 富谷モデルの市民協働を作っていけるといいと思う（H30 研修会）
 - パートナーの相手はNPOだけではなく、町内会、各種団体との関係も必要（H30 研修会）
 - 協働の領域について例をあげると取り組みやすいと思う（H30 研修会）
 - より多くの人に参加できるようなオープンなもの（R元セミナー）
 - 行政職員は机上で仕事をするな（R元セミナー）
 - 1人1人が自由に意見をいつでも発表できる場、無理なく自然体であること（R元セミナー）
 - 1人1人の意見を受け取り否定をしない（R元セミナー）
 - 交流が大事（R元セミナー）
 - 協働活動の提案時に市と相談できるようにする（R元セミナー）
 - 努力（R元セミナー）
 - 人の考えを否定してはいけない（R元セミナー）
 - ネガティブな意見はバツ、色んな意見を否定せず前向きに意見を出していく（R元セミナー）
 - すべての市民が活動できるようにする（R元セミナー）
 - 情報公開（R元セミナー）
 - 情報共有（良いことも悪いことも情報開示してほしい）（R元セミナー）

課 題	4.協働を推進していくためのしくみをつくる
<p>これまでの取組</p>	<p>○まちづくりの担い手となる人材や団体を育成・支援していく仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進プランにおいて市民参画・協働事業を位置付け推進(8事業) ①広聴事業の充実(市政懇談会の開催、とみやわくわく市民会議の開催) ②まちづくりの基本となるルールづくりの検討 ③政策形成過程への市民参画(審議会等における多様な視点の整理、パブリックコメント制度の継続実施) ④市民協働の充実(協働による公共施設の維持管理の推進、共に支える地域づくりの推進、自主防災組織の育成推進) <ul style="list-style-type: none"> ・各種補助金、事業後援、施設使用料減免等 ・情報提供 <ul style="list-style-type: none"> 情報コーナー設置(市役所2階市民協働課前) ホームページ掲載(民間助成金情報等、行政区長・町内会の手引き) <p>○市民の公益活動の拠点整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会館(町内会の活動拠点・災害時一時避難所) <ul style="list-style-type: none"> 【H30】穀田会館新築、明石台九丁目会館新築(備品整備のみ) 【R元】杜乃橋二丁目会館新築 【R2予定】西成田会館新築 ・公民館(公民館区住民の活動拠点、学校支援地域本部、コーディネーター配置(社会教育指導員)) ※「コミュニティ活動と生涯学習の連動」(教育振興基本計画) <ul style="list-style-type: none"> 地域を担うリーダー養成研修の実施、市民の意欲と地域貢献をつなぐ新たな仕組みづくり ・ボランティアセンター【市社会福祉協議会】(ボランティアの活動拠点、コーディネーター配置(社協職員)、ボランティア登録等) ・とみぷら(起業・創業支援、しんまち地区活性化に関わる住民の活動拠点、コーディネーター配置(コミュニティコンシェルジュ))

市民・職員の意見

<市民の活動に対する行政の支援>

- 活動する中で広報の部分を行政にお手伝いいただけたらと思うことがある。ホームページの運営も今の課題です。 이슈ではなくチャレンジで市と協働することができればと願っている(H30 セミナー)
- ある理念をもったコミュニティの人材や活動を地域のために貢献していただきやすくなるためのハード面の支援や、活動の場を広げるための「後援」という形により、パートナーシップを結ぶことも重要(H30 研修会)
- 富谷市は決して大きな自治体ではないが、地域の方の声をよく聴き、小回りの利く行政としての支援、協働ができるのではないかとと思う(H30 研修会)
- 市民や地域、団体等のまずはやってみようという気持ちを行政が支援し連携することで協働が生まれるのではないかとと思う(H30 研修会)
- 市民協働課で資金や人材の情報をとりまとめて広報する(R元わくわく)
- ボランティア団体も活動によっては、市の施設の使用料減免をシステム化してほしい(R元わくわく)
- 子育て世代も参加しやすいイベントがあるとよい(R元わくわく)
- 参加・活動しやすい環境づくり(土日の市民バス運行、空き家活用と仲介、町内会運営の相談と仲介、情報提供と施設の提供、行政による各団体の活動のPR、補助金、学校教育と連携)(R元セミナー)
- 学校が主体となって地域をつなげていく(R元わくわく)
- 住民参加・各団体のPR・世代間交流の場を設けてほしい(イベントやお祭り)(R元セミナー)
- 世代間・地域間交流の機会と場の創造など行政と一緒に考えたい(イベントによっては助成や施設使用料減免をしてほしい)(R元セミナー)
- 富谷市に市民協働課があるのを封書をもって初めて知った。市民へのアピール、問題のを見つけ方、提案の仕方、どう展開するのか教えてほしい(H30 セミナー)
- 今回参加された皆さんの意見の反映をお願いします(R元セミナー)

<地域の活性化>

- 小中学生、高校生、大学生との関わりを身近にし、アイデアを得る(H30 研修会)
- 大人だけでなく子どもも楽しめる活動の中で子どもたちをリカバリーしながら人づくりをしている。子どもが大人になったときに生きてくると思う(R元わくわく)
- 多世代のつながりが地域を活性化するポイントとなる(R元わくわく)
- みんなで地域の弱点を理解するといい(R元わくわく)
- スポーツを通して親子を集めて地域を活気づける(R元わくわく)
- 街角カフェを発展させ、参加者の年齢層・性別を多様化し、つながりをつくる(R元わくわく)
- 顔見知りの方が更に顔知りになるという関係をつくり、地域の基礎力を強化する(R元わくわく)
- 参加しやすい雰囲気づくりが必要(R元わくわく)
- ひっぱっていく人の育成が必要(R元セミナー)
- 出来ることを何でも協力したい(R元セミナー)
- (団体活動は)その都度住民の声を聞いてそれを実行することと思います。それが長続きの秘訣だと思います(R元セミナー)

課 題	5.職員の意識向上を図る
これまでの取組	<p>○職員研修会の開催</p> <p>【H30】テーマ:市民と行政の協働について～協働の考え方と取組～ 講義、活動紹介</p>

<職員の意識向上>

- 「協働」の定義、概念等の共通理解のもとに、それを「まちづくり」に生かす視点を職員が共有できるとよい（H30 セミナー）
- 「協働」と「官民連携」について市役所内も情報共有と連携できるような体制があればいい（H30 研修会）
- 「協働」のため、市職員として、もっと市のことを学ぶ必要がある（H30 研修会）
- 時代に合う協働の形が必要であり、NPOや民間との協働が大切になると思う。若手職員の考えなども吸い上げることも必要だと思う（H30 研修会）
- 市役所職員という立場で住民の方と共に物事をつくりあげていくためにどう関わっていけばいいかが検討課題。（H30 研修会）
- 何故進展しないか行政自身が考えよ（R 元セミナー）